

夏期兒小衛生



八、九歳以下の子供に

織維は禁物です

つて病快味を覺へる程度は大人ほどでない。万一千度のものでない

つて病快味を覺へる程度は大人ほどでない。万一千度のものでない

異なつて、夏は野

に山に綠を敷いて

訪れて来ました。

この夏、育児にさ

つては最大の危険

に限らず水でも

ソルベツテ

エスキモでもすべ

て水類は八九歳以下の子供には絶

対にやうの事です。

胃の消化液の分泌を悪くし粘膜の

消化力も弱めらから

らまだしも食前など特にいけませ

んが欲しいだらう

が欲しくら

らうが小供は筋肉体であるから常に

食慾は旺盛だから

冷たいもの

考へて小供は興へ

へた方がよい

西瓜は刻んで

硬くて消化不

良だから與へるなら細く刻んで

るが果汁にして與へるといい

ない、應々にして下痢を起す時に

は直腸炎の原因を起すやうになる

スプーンで少しづつそのまま與へ

てよい、ただしこれは二三歳以下

の乳兒には絶對禁物、乳兒には恐

ろしい乳兒腹痛がある、又ソーサ

水

は涼しい所で

アラジルの

水分を増やすやうにしたい、又

脂肪分や蛋白質を減じて果物、野菜

へた方がよい

カゾーザ

な炭酸含有のもの

で胃への刺戟によつて消化を悪

くする、與へるなら充分炭酸瓦斯

を發散させて後與へるがよい

いつの間にか寝入つて了ふやうに

あります

ちからづいてしまふもので、ねん

甘へて泣くやうになりますが乳

を飲ませてしまつたら手早く横に

寝かせ、うつかり一つあやす

いふ事は大

變大人の中

ならぬまか、側に寝て子守唄を歌

うるをさる

御習慣

は春坊のう

がわかるやうになると側にゐて貰

ります

がわざりで腰付

けずりで

抱いてゆすり歩かなくては

いふ事は大

變大人の手

をもつて代る

問題はないが、物心つて人の顔

をもじ事で一人で放つて置けば

いつの間にか寝入つて了ふやうに

あります

ひたいと

第二回日伯對抗陸上競技大會

必死の追撃空しく
凱歌は遂にノビシモ軍

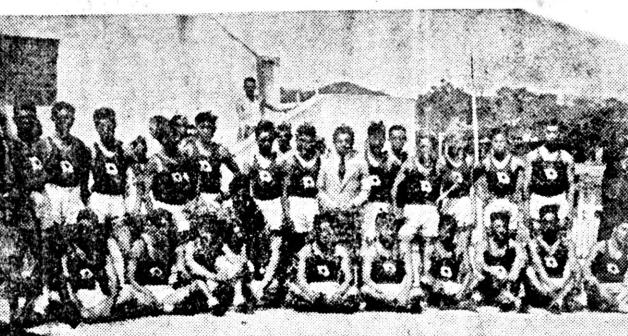
三段跳に一二米一三

ダーク・ホースの坂井君

去る三日聖市の西北パウリスター競技場で催された晴れの第二回日伯對抗陸上競技大會は豫定通り午後二時から、先づ日本コロニア軍二十九選手を先頭に、續くノビシモ軍三十九選手、何れ劣らぬ粒揃ひの面々、凜々しいユニホームに身をかたため堂々たるしかも最蕭そのものゝ選手入場式が型の如く済むと、戦ひの火蓋は棒高から遂に切られた

カンカンに照りつける烈日のもと熱と力に満ちた若き戦士等の武者振り幾多驚異の新記録を現はして接戦に接戦よし、戦ひはコロニア軍に利らず、五〇対八一の大敗はしたが、見よ、三段跳における坂井君の一三米二三、棒高に於ける石田君の三米五三、槍投牧野君の四九米四〇、走高有森君の一米八一、更に五千米に於ける小田君が餘裕線々數米も強敵を離して、タクイム十七分二〇秒でゴール入したなど何れも堂々優勝、彼等の頭上に輝く赫々たる武勳と共に我がコロニア軍に萬丈の氣を吐いて遺憾はない

之等の記録は將にダーク・ホース的色彩を帶び、無氣味の未知數を今後に示すもので負けて悔なきフェア・プレーに寧ろ満腔の悦びを感じるものである



日本コロニア軍を向ふに廻し頑強に勵を争つたる吾軍の勇姿

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし優勝した我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らずし

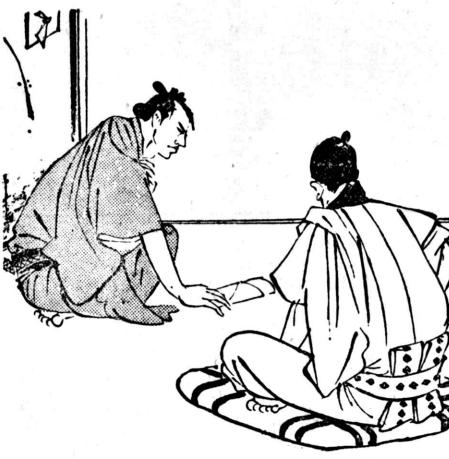
競技當日は真夏の炎熱にも勝り日は最も強く第一回の寒さに反しこれまた選手も役員も觀衆も皆るやうな暑さ、でも必勝の氣概に燃ゆた若き闘士、けふぞ朝か争ふ榮ある大會は左の順序で進められた

競技順序 選手入場式 棒高跳 四百米走 番外三千米 三時二十分 三時三十分 四百米繼走

既に四十点、大勢は將に決定した爲めか一蹴され、兩軍の得點を示したが戦ひは將に諦められ、我軍必死の道筋は目醒まし

い健闘振りであつたが力足らず

市「なる程、どうして大塚の屋
数年に忘れる宴會があると知れた
な」
金「そいつは辰の野郎が壇に出
して來たんで」
市「さうか、それは宜かつた、
所で娘や千代太ばかり殺つて居
所の大塚が生きるんぢやア
何にもならねが……」
金「そです親分、先生に御相
談したのは、私しは方娘や千代
太を斬る、前さんと先生は代官
の屋敷へ衆込んで角太夫始め石橋
宮川が斬る云ふ事にしたら宜い
だらうと思ひます。何しろ思うし
て風雨でぬましまし、相手は酒に
酔つてゐるから安々と斬る事が出
て来る」と云ふ事にしたら宜い
だらうと思ひます。何しろ思うし
て行く、突然行方から千代太に
突がつた一人



市「さうか、それは宜かつた、
所で娘や千代太ばかり殺つて居
所の大塚が生きるんぢやア
何にもならねが……」
金「そです親分、先生に御相
談したのは、私しは方娘や千代
太を斬る、前さんと先生は代官
の屋敷へ衆込んで角太夫始め石橋
宮川が斬る云ふ事にしたら宜い
だらうと思ひます。何しろ思うし
て風雨でぬましまし、相手は酒に
酔つてゐるから安々と斬る事が出
て来る」と云ふ事にしたら宜い
だらうと思ひます。何しろ思うし
て行く、突然行方から千代太に
突がつた一人



(禁上)

(映画化)

一龍齋貞喬演
北富三郎書
(26)

アマゾンへの進出は 果して無謀に非ざるか (七)

アマゾンを聴く會

(七)

語る人々

鎌本記者、東海林享氏(在植一年)中村七次郎氏(四年)小西茂氏(七年)S.K.氏(四年)尾形父(三年)長野寅氏(三年)梅木父(二年)梅木秋二氏(二年)尾形清一氏(三年)他は二年の家族全般南拓アカラ植民地

の家庭

の年

の年